

富士山を学び、守る

2012
1

No.106

富士山憲章 NEWSLETTER

[ニューズレター]

富士山に関する情報満載！
富士山のことをもっと知りませんか？

富士山憲章ニュース …P1

From FUJISAN

富士山レンジャー活動報告 …P2

「教えて！
ふじさん博士」 …P3

日本一の高山に生きる …P4

GO TO NATURE!
～富士北麓の自然へ出かけよう～ …P5

富士山関連イベント情報

[COVER PHOTO]

辰年にふさわしく「竜ヶ岳」から撮影した富士山。
空が澄み渡り駿河湾と富士の新春らしい風景を拝めました。

2月23日は
富士山の日
富士山を世界文化遺産に！

富士山の日を制定しました!

山梨県では、富士山に対する県民の理解と関心を深め、富士山を愛する心を育み、後世に富士山を引き継いでいくという「富士山憲章」の理念を周知するとともに、富士山の世界遺産登録への大きな後押しになると考え、2月23日を富士山の日とする条例を制定しました。

富士山あて年賀状を募集中 締め切り間近

みなさんあけましておめでとうございます。
本年度もよろしくお願ひいたします。

富士山ボランティアセンターでは、例年富士山の環境保全に向けた意識を高めることを目的として、富士山あて年賀状を募集しております。

官製ハガキもしくは私製ハガキの裏面に富士山のイラストとメッセージを記入して富士山ボランティアセンターまで、応募してください。募集期間は平成24年1月25日(水)までとなっております。締め切り間近です。入選作品200点については、記念品を贈呈するとともに、富士北麓地域等にて巡回展示をいたします。(展示場所については、決定次第広報いたします。富士山ボランティアセンターのHPをご覧ください。)たくさんのご応募をお待ちしております。

詳細については、裏表紙をご覧ください。



昨年度最優秀賞受賞者 高木 政史さんの作品

富士山麓古タイヤ 不法投棄防止キャンペーン

富士山ボランティアセンター主催による富士山麓古タイヤ不法投棄防止キャンペーンが平成23年12月3日(土)に道の駅富士吉田、道の駅なるさわにて行われました。スタッドレスタイヤへ換装する11月、12月は富士北麓地域での古タイヤの不法投棄が増加する傾向にあるため、今回のキャンペーンは多くの四輪自動車のドライバーが訪れる道の駅にて開催されました。

山梨県自動車整備振興会岳麓支部をはじめ、環境省富士五湖自然保護官、山梨県観光資源課、富士山レンジャー、富士東部林務環境事務所、富士吉田警察署、富士山麓環境美化推進ネットワーク構成団体などが参加し、古タイヤの不法投棄防止を呼びかけながら、啓発物品を配布しました。

また、富士山麓環境美化推進ネットワーク構成団体の一員であり、富士山麓での清掃活動を実践しているNPO団体富士山クラブは、富士山麓に不法投棄されていたタイヤの写真展示をおこないました。

鳴沢村の山林では5000本近い古タイヤが大量に不法投棄されていましたが、本年度富士山クラブが中心となって回収に努めた結果、11月までに約2700本を撤去することができました。今後も継続してタイヤの撤去作業が行われる予定になっています。

平成24年度は、富士山の世界遺産登録に向けユネスコの諮問機関であるイコモスが富士北麓地域を訪れます。一刻も早い古タイヤ不法投棄の根絶が望まれています。



古タイヤ不法投棄の展示の様子

From FUJISAN

富士山レンジャー活動報告

私たち富士山レンジャーの秋期における巡回パトロールの活動範囲は、概ね夏期と変わりありません。ですが、重点的に見回る場所、目的が多少異なります。今回は、そんな秋の巡回活動について紹介します。

○富士山登山道

夏期は、登下山道や公衆トイレ、避難シェルターなどの施設を確認すること、また利用者によるルール・マナー違反行為等の未然防止、さらにはそれらの普及啓発活動が主となるため、スバルライン口五合目から吉田口登下山道方面がおもな活動エリアとなります。

対して秋期は、登下山道とも9月上旬には冬季閉鎖となるので、巡回頻度を落とし、現状確認のために六合目へ行く程度にとどめています。登山道ゲートには「通行止」の案内看板が出ているためです。

しかし登山道では、登山者や観光客を多数見かけます。9月中旬でも営業している山小屋が多いこと、また六合目まではそれほど危険な場所もないと思われていることなどがその理由と思われます。しかし、「なぜ？通行止」か、今一度考えてみる必要があります。おそらく強風や低温、降雪などによる気象条件の悪化や、次第に閉鎖される小屋が増えることから登山者の安全確保が困難になるために、道路管理者が決定していると考えられます。六合目までの登山道で山側を見上げると、不安定な大小さまざまな岩をいくつも見る事ができます。いつ落石が起きても不思議ではない斜面が続くのです。自らもリスクを減らす努力をしてみませんか、と言いたいところですが、情報発信の不足も指摘されている現状では、分かりやすい言葉で9月以降の富士山を説明する努力をしているところです。

いずれにせよ、山小屋等の営業期間と道路閉鎖の区間や時期のミスマッチを解消していく必要があると感じています。世界文化遺産登録を控え、来訪者に解りやすい空間にするための更なる努力も関係者に求められているのではないのでしょうか。



11月の登山道、多くの観光客がゲートにある「通行止」看板を横目に先に進む

富士山レンジャーとは？

- (1)来訪者等に対する利用マナーについての普及啓発及び指導、富士山の自然等についての解説
- (2)植物等の不法採取やゴミの不法投棄の不正行為に対する監視及び是正指導
- (3)指導標、案内板などの自然公園施設の点検
- (4)その他知事が必要と認める業務

等を業務とする、山梨県独自の制度です。現在、4名が富士山北麓地域において各種活動を行っています。

○富士山御中道

秋期は、富士山五合目付近を周回するお中道の一部（山梨県が管理する、スバルライン五合目から御庭までの区間）を重点的に巡回します。登山シーズン中は比較的静かな遊歩道ですが、夏山シーズン終了とともにハイキングや散策などで訪れる方が増えてきます。しかし、登山道同様利用者の増加とともに問題が多く見受けられることは残念なことです。御中道で大きな問題となるのは、採取行為といえるでしょう。御中道を含む富士山五合目以上は、自然公園法で『特別保護地区』に指定されており、「落ち葉」一枚持ち帰るにも許可を受けなければいけない場所になっています。特にこの時期は、コケモモやキノコなどの秋の恵みが実ります。それらを目的に遊歩道から外れ斜面に入り込んでいる人を見かけます。

その多くは「確信犯」ですからたちが悪いとしか言いようがありません。なかには、テレビ番組で見てきたという人もいますが、少し勉強不足ではないでしょうか。関係機関では、「特別な許可を得て撮影しています」といった、テロップを入れて放映するよう求めているからです。「特別な許可」とは一体何なのか、少し調べれば済む話なのですが、ただし、現地には特に目立つ掲示物はなく、仮にあって経年劣化で読みづらくなったりして、情報発信に努めているとは言い難い現状があります。しかし、ルールがある以上、利用者もそれらを守る義務があるはずです。

登下山道の標識類は、一定程度整備が進みました。今後は御中道や周辺地域に広がっていくものと考えられます。その際に、方向指示標識をはじめとした観光目的の案内看板に、ぜひルールやマナー啓発の情報も取り込んでほしいと思っています。引き続き関係各所へ働きかけていきます。



9月の御中道、採取目的で林内に立ち入っていた



ふじさん博士

「教えて！ふじさん博士」



ふじこちゃん

第17回 「富士山世界文化遺産構成資産候補地へ行く－忍野八海・富士五湖編－」の巻

博士—ふじこちゃん、今回は、忍野八海と富士五湖に行ってみようと思うのじゃよ。

ふじこ—忍野八海といえば、「出口池」「御釜池」「底抜池」「銚子池」「湧池」「濁池」「鏡池」「菖蒲池」の8個ですね。昔は、総称して「元八湖」と呼ばれていたそうですね。

今は、多くの人で賑わっているわね。昔もさぞ賑わっていたのでしょうかね。

博士—いやいや。賑わっていたばかりではないのじゃよ。昔から富士信仰の霊場であったが、衰退した時期があるのじゃ。そのことを知った大寄兌孝（おおよりよしたか）通称友右衛門によって、元八湖が再建されたのじゃ。

ふじこ—どうやって再建したんですか？

博士—八湖の道を整備し、池の底にたまった土砂やごみを取り除き、それぞれの池に八大竜王を祀る詠歌を詠んだ石碑を立てたんじゃ。そして、富士講の巡礼地として再び栄えたのじゃ。

ふじこ—すごい人がいたんですね！いったいどんな人なの？

博士—友右衛門は、市川大門村の長百姓。大我講という富士講の開祖じゃよ。

また、元八湖再建の背景には、天保の大飢饉があったのじゃ。忍草村では、天保6年（1835年）から8年（1837年）までの3年間だけで140人以上の人が亡くなったのじゃ。

大我講は市川大門村から関東一円に広まり、各地から忍草への巡礼者がやってきたようじゃ。

ふじこ—沢山の人たちが忍草に来たのね。元八湖が再建されて良かったわね。

博士—湖では、富士五湖が候補地に入っておる。「山中湖」「河口湖」「西湖」「精進湖」「本栖湖」じゃ。

ふじこ—はい。

博士—まずは、本栖湖じゃ。千円札の裏の富士山は、かの岡田紅陽が撮影した「湖畔の春」をもとにデザインされておる。岡田紅陽は、生涯をかけ富士山の撮影に臨んだんじゃ。

ふじこ—芸術と言ったら、私は断然、葛飾北斎だわ。「甲州三坂水面（こうしゅうみさかすいめん）」がふじこのお気に入りよ。三坂（御坂）峠からの富士山と河口湖が素敵よ。

秀麗な富士山がふじこを感動の渦に巻き込むの。

博士—そうかい。わしは、山中湖が好きじゃ。マリモが有名じゃろ。

ふじこ—昭和31年に発見され、山梨県指定天然記念物「フジマリモ」と名付けられたんですね。

湖畔には、富士講の丸正講の人たちが山中湖に鯉を放流した記念碑もありますね。

博士—そうじゃのお。わしは精進湖の子抱き富士も好きじゃ。

ふじこ—博士、精進湖といえば赤池です。赤池はかつての精進湖の広がり的一部分ですね。

去年は、7年ぶりに姿を現しましたね。

博士—そうじゃったのお。赤池は、精進湖の痕跡で閼加（あか）

（富士山に供える水）を取った場所と考えられておる。

この精進湖にも多くの富士講の徒が訪れたのじゃ。

ふじこ—富士山信仰の巡礼、内八海巡りでは、西湖にも多くの富士講の徒が訪れていますよ。

博士—富士五湖は、芸術だけでなく、信仰の場でもあったのじゃ。

ふじこ—富士山には、いろいろな魅力があるのね、博士！ふじこ、富士山のことをもっと知りたくなりました！

博士—そうじゃよ、ふじこちゃん。その調子で勉強していくぞ。

参考文献 「富士八海をめぐる」 富士吉田歴史民俗博物館

MARUBI 富士吉田市歴史民俗博物館だより

「富士山を知る旅へ」富士山世界文化遺産登録推進両県合同会議

富士学研究 「甲州市市川大門領の富士講と元八湖（忍野八海）再興

忍草山 大日院 東円寺HP



元八湖（再興記念碑）

亜高山帯の主役【シラビソ】

高山の香り

富士山のおおよそ三合目から五合目にかけて、柑橘系に似た独特の匂いを感じることがあります。これは、シラビソなどの樹木が放つ芳香です。深呼吸したくなるようなシラビソの清々しい香りは、高山に来たことを実感させてくれます。シラビソに近づいて幹を観察してみると、幹のいたる所にボツボツと小さく膨らんだものがあることに気がきます（写真1）。これは樹脂が入っているヤニ袋です。触ると柔らかく、爪をたてると簡単につぶすことができ、非常に匂いの強い樹脂が出てきます。（富士山は国立公園に指定されています。むやみに樹木を傷つけるのは避けましょう。）



写真1 シラビソの幹

極相種

シラビソは別名シラベとも呼ばれ、本州の太平洋側など比較的雪の少ない場所で群落を形成することが多いと言われています。富士山でも三合目から五合目にシラビソ林を形成しています。シラビソは亜高山帯針葉樹林の代表的な極相種です。極相種とは、かく乱がないかぎり安定的に更新する種で、植生の遷移の最終段階の種です。シラビソ林の林床には、倒木や幼樹が多く見られ、どれもシラビソです。シラビソが何世代にもわたり更新していることが分かります。また、富士山では見られませんが、シラビソ林は帯状に枯れていくことでも知られています。帯状に枯れている部分は、山肌が白く見えます（写真2）。枯れた場所には次世代の固体が育っていきませんが、今度はその上部がまた帯状に枯れていきます。帯状に枯れた部分が縞模様に見えるため、「縞枯れ現象」と呼ばれています。八ヶ岳には縞枯山という名前がついた山もあります。

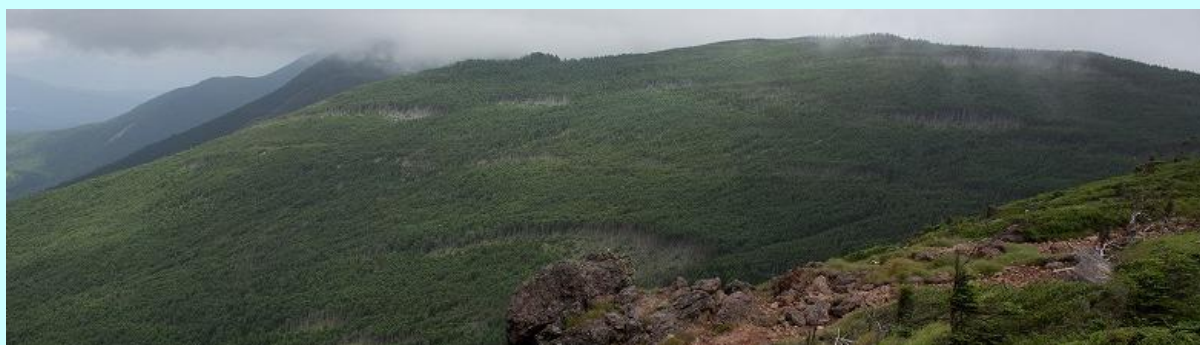


写真2 縞枯れ現象(八ヶ岳)

暗い林で生き抜く

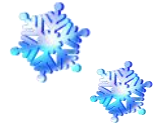
上でも述べましたが、シラビソ林の林床にはシラビソの幼樹が多く生育しています（写真3）。シラビソは非常に耐陰性が強く、暗い林内で芽生えることができます。シラビソは明るい場所と暗い場所で樹形が異なります。明るい場所ではきれいな円錐形となりますが、暗い場所では傘を開いたような形になります。傘開いたような形なので、傘型樹形とよばれています。傘型樹形は、水平方向に枝を伸ばし、お互いが重ならないような形にすることで、少ない光を最大限に受けとる工夫だと考えられます。傘型樹形となったシラビソは、暗い林内で頭上の木が枯れるのをじっとまっています。しかし、暗い環境下ではある程度の年数しか生きることができず、日の目を見ないまま枯死してしまう固体も多くあります。



写真3 林床を覆うシラビソの幼樹

～富士北麓の自然へ出かけよう！～

Go to Nature!



辰年の初山行はこの山から！ 「天子山系 竜ヶ岳」

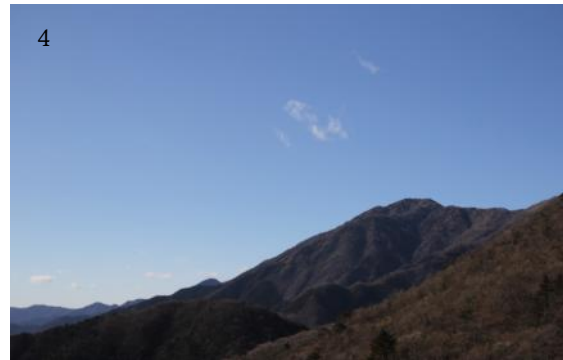
【主ルート】 竜ヶ岳登山口 - 石仏 - 竜ヶ岳 - 雑木林(遊歩道) - 登山口



新年を迎え、干支では辰年になりました。この連載では山系ごとに紹介していく予定でしたが、“辰”年なのだから、まずは、願掛けもかねて“竜”の冠がつく山を紹介することにします。竜ヶ岳を含む山系である「天子山系」の紹介は次号で行う予定です。「天子山系」は中級者～上級者向けのコースレベルで、急登や波線ルートが多くあります。しかし、竜ヶ岳はハイキング感覚で登れる比較的ライトな山です。登山口は、本栖湖キャンプ場側の登山口と端足峠経由の登山口二ヶ所(根原側、湖畔側)の計三ヶ所あります。

今号で紹介する本栖湖キャンプ場側登山口からのルートがもっとも人気です。また、端足峠から山頂までのルートは、急登で滑りやすく、展望もあまりよくありませんのでご注意ください。はじめは、キャンプ場を抜けてスギ・ヒノキ林を登ります。30分ほど登ると、富士山を眺めることができる休憩ポイントにつきます。ここまでの区間でも、天候によっては積雪している可能性があります。滑りやすい恐れもあるので、4本～6本の軽アイゼンは必ず用意してください。そこから、ややなだらかな稜線を30分ほど登ると石仏です。石仏からは富士山を裾野まで眺めることができます。天候がよければ駿河湾も望めま

(次項へ→)



■写真説明 撮影日/ 2012年 1月5日

- 1: 今回の目標である竜ヶ岳からの展望。右側には駿河湾が広がる。
- 2: 登山口周辺。軽く雪がある雑木林を歩く。 3: ごく最近のクマの爪痕。1月でも冬眠していないクマもいるようだ。
- 4: 石仏から見たタカデツキ。奥に続く天子山系もみることが出来る。こちらのルートは健脚者向き。

展望良好で、厳冬期でも登れる気軽さが魅力。 登山道が整備されたのは、なんと辰年の2000年！

す(写真1, 4)。石仏からは、富士山を背にササ斜面の急坂を登ります。石仏から一時間ほどで山頂です。笹に覆われた山頂なので、視界を遮るものもなくダイナミックな富士山を見られます。この竜ヶ岳、かつてはササの海を歩くような状態で、上級者向けと紹介されていましたが、2000年に登山道が整備されて気軽に登れる山になりました。整備された年が、ちょうど“辰年”であり、今年で一回りになります。この山に“竜”という名がつくのも、古くから伝わる湖に棲む龍にまつわる伝説からだそうです。また、12月上旬から1月上旬にかけてダイヤモンド富士が見えるスポットとしても有名です。そういった新年にふさわしいご利益効果もあってか、1月の平日でも多くの登山者でにぎわっていました。天気良ければ富士山だけでなく、南アルプスや八ヶ岳も望めます。“今年は何の山を登ろうか”などの思いをはせながら、これから始まる一年の山行の登り初めとして、一年の安全や幸福を祈願して、まずは足慣らしがてら竜ヶ岳を登るのはいかがでしょうか？



■写真説明 撮影日/ 2012年 1月5日

- 5: 石仏からの登山道。ササ斜面がつづく。
- 6: 北ルートとの分岐付近から。本栖湖とその奥には八ヶ岳、奥秩父の展望が素晴らしい。
- 7: 山頂からの様子。この日も老若男女多くの登山者で賑わっていた。
- 8: 低山とはいえ、山頂付近では風も強く防寒対策には要注意。暖かいものを山行のお供に。



■その他詳細情報

- ①ルート周辺地図: 上図参照
- ②参考コースタイム: 計4時間15分
登山者用駐車場(10分)-登山口(▶60分)-(◀45分)-石仏(▶60分)-(◀45分)-分岐-(▶15分)-山頂(10分)-分岐(▶45分)-(◀60分)遊歩道分岐(▶35分)-(◀50分)登山口(20分)登山者用駐車場
- ③アクセス: 電車/マイカー 登山者用駐車場有 富士急山梨バス(本栖湖方面)
- ④問合せ連絡先: 富士河口湖町役場 観光課/ 0555-72-3168(直通) 富士急山梨バス/0555-72-6877
- ⑤一言アドバイス: 雨ヶ岳、毛無山への縦走は健脚向け。日の短いこの時期は、おすすめしません。北コースは凍結箇所が多いので注意が必要です。軽アイゼンは必ず持ちましょう。

富士山関連イベント情報

○第9回「富士さんへ謹賀新年」富士山宛て年賀状
富士山の環境保全に向けた関心や意識を高めるため、富士山
にあてた年賀状を全国から募集します。
応募資格:どなたでも応募できます
募集期間:平成24年1月25日(水)まで
賞品
最優秀賞1点:20,000円商品券
審査員特別賞2点:10,000円商品券
優秀賞12点:2,000円商品券
入選作品(上記15点を含む)200点:記念品
入賞者等の発表:平成24年2月中旬
その他:詳細に関しては下記をご覧ください。
<http://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/topics/kinga22.html>
問い合わせ・応募先:富士山ボランティアセンター
〒401-0301 山梨県富士河口湖町船津6663-1 富士ビジター
センター内 TEL0555-20-9229

○第13回 富士山写真大賞展
全国より寄せられた約1000点の応募の中から、厳正な審査に
よって選出された入選作品48点を展示いたします。
開催期間:平成24年3月25日(日)まで
開館時間:9:30~16:30
入館料:一般・大学生800(720)高校生・中学生500(450)
カッコ内は8名以上の団体料金
休館日:火曜日(3/20祝は開館いたします)
開催場所:河口湖美術館
問い合わせ:河口湖美術館 TEL0555-73-2829

○「山梨の富士山・2012年カレンダー」展
富士北麓地域の市町村で発行しているカレンダーを展示し、各
地からの富士山の姿と各自治体を紹介する企画展示。限定販
売あり。
開催期間:平成24年1月31日(火)まで
開館時間:8:30~17:00
開催場所:山梨県立富士ビジターセンター1階
参加市町村等:忍野村、鳴沢村、富士河口湖町、富士吉田市、
山中湖村、山梨県山岳連盟
問い合わせ:山梨県立富士ビジターセンター TEL0555-72-0259

○光のナイアガラ&ウェイブ
全長280メートルの光の滝と波で構成された幻想的なイルミネー
ションです。
開催日時:平成24年1月31日(火)まで
開催時間:17:00~20:00
開催場所:富士河口湖町 大石公園
入場料:無料
問い合わせ:河口湖自然生活館 TEL0555-76-8230

○2012光のGAI-RO-JU(街・路・樹)
河口湖畔大池公園とその周辺地区のイルミネーションが新たに「光
のGAI-RO-JU」として生まれ変わります。
開催日時:平成24年2月23日(木)まで
開催時間:16:30~21:00まで
開催場所:富士河口湖町 大池公園
問い合わせ:富士河口湖町観光課 TEL0555-72-3168

○山中湖 アイスキャンドルフェスティバル
夕暮れのシルエットに浮かぶ富士山と数千個のアイスキャンドルを
湖畔で楽しめます。
アイスキャンドル点灯日1:平成24年2月4日(土)
開催場所:長池親水公園
アイスキャンドル点灯日2:平成24年2月11日(土)
開催場所:平野ちびっ子広場
アイスキャンドル点灯日3:平成24年2月18日(土)
開催場所:山中湖交流プラザきらら
点灯式:17:30~ ※式典終了後、冬花火打上予定
その他:雨天や荒天時には中止、または延期となる場合がございますのでご了承ください。
問い合わせ:山中湖観光協会 TEL0555-62-3100

○美しい県土づくり推進大会
山梨県の景観形成やまちづくり、これらを通じた地域活性化等に興味
がある方はふるってご参加ください。
開催日時:平成24年1月30日(月)14:00~16:00
開催場所:アピオ甲府 中巨摩郡昭和町 TEL055-222-1111
内容:美しい県土づくり推進宣言、基調講演、美しい県土づくりの取
り組み報告等
問い合わせ:山梨県美しい県土づくり推進室 TEL055-223-1325

※富士山関連イベント情報は、毎月15日にメルマガを発行してお知らせしてい
ます。メルマガ購読は下記HPまで。

富士山憲章(行動規範)

- 一. 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 一. 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 一. 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
- 一. 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 一. 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

平成10年11月18日 山梨県・静岡県

富士山憲章は、富士山の自然環境の保全の理念や行動規範を示し、環境保全の
実践活動を呼びかけ、国民的な規模で、運動の展開を図っていくことを目的として
います。

富士山ボランティアセンター

(山梨県観光資源課富士山分室)

TEL:0555-20-9229

FAX:0555-72-4114

山梨県富士河口湖町船津剣丸尾6663-1

e-mail: fujisan@eps4.comlimk.ne.jp

本誌のバックナンバーについては、下記よりダウンロードできます。

<http://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/newsletter/index.html>

富士山環境保全メルマガの購読を希望する方は

「富士の国やまなし観光ネット 富士の国やまなしメールマガジン」

会員登録画面

(<http://www.yamanashi-kankou.jp/mailmagazine/regist.html>)

より会員登録してください。

富士山ボランティアセンターは、富士山の環境保全活動を推進するため
の活動拠点であり、富士山憲章山梨県推進会議(地元7市町村・恩賜県有
財産保護組合及び山梨県から構成される)によって運営されています。